

2023～ 国際福祉研究	単位数	履修方法	配当学年
	2単位	SR	1・2年
	担当教員	萩野 寛雄	

※この科目は、2023年度以降入学者に対して開講されている科目です。2022年度以前入学者は履修できません。

■授業のテーマ

修士論文作成に益するべく、福祉国家、その類型、特に社会民主主義型福祉国家への理解を深める

■授業の目的

- ・国際福祉に関する知識を学ぶことで、社会福祉学全般の基礎的素養に関する専門的知識習得に寄与させる
- ・国際福祉に関する知見を深めることで、多次元に渡る広い視点を持って対応できるようになる
- ・修士論文作成に向けて、福祉国家、その類型、特に社会民主主義型福祉国家への理解を深める

■授業の到達目標

- ①福祉国家の諸類型について理解し、それを他者に説明できるようになる
- ②北欧型福祉国家について他者に説明できるようになる
- ③フィンランド福祉国家形成過程について他者に説明できるようになる
- ④これらの到達点を修士論文に反映できるようになる

■授業の概要

本講義では、多次元に渡る広い視点から日本の福祉を考察できるようになるため、まずは福祉国家や行政国家について、その定義や形成過程の理解を深める。その上で先進国における福祉国家の諸類型を理解し、特に日本の福祉とは異なるレジームで福祉が供給される「北欧型福祉国家」について学ぶ。それらを理解したうえで、北欧型福祉国家が人為的に形成された事例としてフィンランドを取り上げ、その福祉国家の形成過程を時系列的に学んでいく。

前半は主にエスピン・アンデルセンの著作を基に、福祉国家とその諸類型、特に北欧型福祉国家とは何かについて学んでいく。後半はその理解の基に山田真知子の著作を用い、フィンランド福祉国家の形成過程を例にその北欧型福祉国家形成の歴史過程を追っていく。

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	行政国家とは	大きな政府、小さな政府 行政国家化の進展	国家の定義や類型から始まり、夜警国家を経て大きな政府化が進んできた歴史を整理する
2	福祉国家とは① 福祉国家の定義	福祉国家の定義、社会保障、社会福祉	行政国家化によって可能となった「福祉国家」の機能とその定義を理解していく
3	福祉国家とは② 福祉国家を測るスケール	ウィレンスキー、収斂理論	福祉国家を測る方法を理解し、ウィレンスキーの収斂理論や開発独裁の問題を明らかにする
4	エスピン・アンデルセンの福祉レジーム論① 脱商品化指標	エスピン・アンデルセン、福祉資本主義の三つの世界	エスピン・アンデルセンの福祉レジーム論の概要を理解したうえで、「脱商品化」について学ぶ
5	エスピン・アンデルセンの福祉レジーム論②	階層化指標 エスピン・アンデルセン、福祉資本主義の三つの世界	脱商品化と共に福祉レジームを類型化する「階層化」について理解する
6	自由主義型福祉レジーム	アングロサクソン福祉国家型、新自由主義	脱商品化が低く、階層化が高いアングロサクソン型の福祉レジームについて学ぶ
7	保守主義型福祉レジーム	大陸型福祉国家、保守主義	脱商品化が高く、階層化も高い欧州大陸型の福祉レジームについて学ぶ

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
8	社会民主主義型福祉レジューム	北欧型福祉国家、社会民主主義	脱商品化が高く、階層化が低い北欧型の福祉レジュームについて学ぶ
9	フィンランド福祉国家の特徴	市場化、予防、包括的地方分権	北欧型福祉国家の代表スウェーデン等の福祉国家と比較して見えるフィンランドの特殊性
10	フィンランドの戦後復興と福祉国家形成過程	WW II 以前、以後のフィンランドの社会福祉の比較	敗戦国で福祉国家ではなかったフィンランドが、福祉国家化していく過程を整理
11	1984年の社会福祉保健国庫支出金改革	社会福祉の原則委員会、公的扶助から社会サービス	フィンランドが北欧型福祉国家に変容していく過程を学ぶ
12	フィンランド型福祉国家の誕生	VALTAVA 改革、北欧型福祉国家	VALTAVA 改革を経てフィンランドの福祉国家が北欧型に変容する過程を整理する
13	1993年改革の目的	VALTAVA 改革の影響 ソ連崩壊の余波	北欧型福祉国家化に伴う財政膨張とソ連砲火による国家的経済危機
14	包括補助金制度の内容	包括補助金制度 垂直的地方分権	財源と権限を地方政府に移譲するだけでなく、民間へも意思決定を下す制度の完成
15	現在に至るフィンランド福祉国家の変遷	健康福祉制度改革と地方制度改革	カイヌー実験、PARAS、ALUK、SOTE、ベーシックインカムなどの各種改革を整理する

■スクーリング事前課題 (学修時間目安：10時間)

レポート課題「福祉国家を定義し、エスピン・アンデルセンによるその類型化を論じなさい」(4,000字以上)

- ・オンデマンド教材、『福祉資本主義の三つの世界』該当箇所をノートテイクしながらしっかり学修のこと
- ・上記二つを十分に理解できない場合は、自分でしっかり調べ理解してから課題に取り組むこと
- ・対面スクーリング当日持参「オンデマンド課題配布資料を各自印刷したもの」「オンデマンド課題を視聴学修した際のノート」「『福祉資本主義の三つの世界』 或いは該当箇所のコピー、『フィンランド福祉国家の形成』(必須)

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	福祉国家について	オンデマンド
2	エスピン・アンデルセンの福祉レジューム論 ～脱商品化指標～	オンデマンド
3	エスピン・アンデルセンの福祉レジューム論 ～階層化指標～	オンデマンド
4	エスピン・アンデルセンの福祉レジューム論 ～福祉国家の三類型～	オンデマンド
5	フィンランド福祉国家の特徴	オンデマンド
6	フィンランドの戦後復興と福祉国家形成過程	オンデマンド
7	1984年の社会福祉保健国庫支出金改革	対面
8	1993年の包括補助金改革	対面
9	包括補助金制度の内容	対面
10	現在に至るフィンランド福祉国家の変遷	対面

■スクーリング事後課題 (学修時間目安：10時間)

レポート課題「日本の福祉国家と比較したうえで、フィンランド福祉国家についてあなたの感想を述べなさい」(4,000字以上)

- ・過去のオンデマンド教材、スクーリング内容をノート等を用いて自分で一度再構築してみる
- ・外国の事例を知ること、日本の社会福祉を相対化してみる
- ・北欧型福祉国家の条件、その特殊性についてしっかり学修したうえで課題にのぞむこと

■レポート課題

課題 1 (事前課題)	福祉国家を定義し、エスピン・アンデルセンによるその類型化を論じなさい。
課題 2 (事後課題)	日本の福祉国家と比較したうえで、フィンランド福祉国家について <u>あなたの感想</u> を述べなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス



- ・オンデマンド動画教材だけでなく、それを理解するのに必要な資料を自ら集めて自主学修すること
- ・基本的な日本語作文作法を遵守（主語や述語の対応、句読点や意味段落での改行、一文の長さ等）
- ・箇条書きではなく、論理的なレポート構成に努めること



課題 1 と同じ、それに加えて；

- ・福祉国家の三類型、北欧型福祉国家、その中でのフィンランドを理解すること
- ・スウェーデンとは異なるその福祉国家の形成過程に注目し、日本の社会福祉レジームを外から相対的に眺めること。また、フィンランドや北欧型福祉国家の条件についてもよく理解すること

■評価の方法・基準

- ・スクーリング50%、課題レポート50%

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- * 1) 山田真知子『フィンランド福祉国家の形成』木鐸社、2006
- * 2) エスピン・アンデルセン『福祉資本主義の三つの世界』ミネルヴァ書房、2001（一部をコピーで配付します）